

令和2年度第2回横浜市学校規模適正化等検討委員会 会議録

日 時	令和3年3月23日(火) 12時30分～14時00分
開 催 場 所	横浜市役所 18階 さくら15会議室
出 席 者 (10名)	小松委員長、野木副委員長、倉斗委員、平井委員、片岡委員、村田委員、秋好委員、 廣淵委員、中野臨時委員(部会長)、渋谷臨時委員(副部会長)
欠 席 者 (2名)	飯塚委員、鈴木委員
開 催 形 態	公開(傍聴者0人)
議 事	1 部会からの報告 2 学校規模適正化等について 3 菅田の丘小学校開校に向けた準備について
決 定 事 項	1 「旭北中学校・上白根中学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会の意見書 のとおり横浜市学校規模適正化等検討委員会として教育委員会へ答申することを決 定した。(答申書の内容承認)
議 事	<p>1 部会からの報告</p> <p>(部会長)</p> <p>上白根中学校は、ひかりが丘団地の中にある中学校であり、地域や保護者の思い 入れも強い学校です。そのため、地域や保護者としても、中学校がなくなること にかなり抵抗があり、様々な意見が出ました。その中で、子どもたちのことを一番に 考え、断腸の思いで2校を統合し、旭北中学校を使用校舎とする結論を出しまし た。統合にあたっては、これまでの小規模校ならではの良さを引継いでほしいと思 います。また、是非地域の為にも少しでも良い学校運営ができるようよろしくお願 いいたします。</p> <p>(副部会長)</p> <p>検討の際に、義務教育学校にできないかと提案させていただきましたが、現状で は難しいということで、統合という結論を出しました。検討を進める中で、大人の 都合が優先され、子どもたちのことが議論から外れてしまうことがないように、子 どもたちのことを一番に考え、検討を進めることを心掛けました。これからが本当 の始まりであり、主役は学校の生徒と先生です。我々は縁の下の力持ちという 形で支援していきたいと考えています。</p> <p>(委員)</p> <p>学校は、児童生徒や教職員、保護者だけでなく、地域の方の支えがあって成り立 っていると感じます。統合にあたっては、子どもたちのことが最優先ということは もちろん、これまで以上に細やかな配慮を学校や教育委員会にさせていただきたいと 思います。</p> <p>(委員)</p> <p>統合までの2年間で、部活動を合同で実施するなど学校間の連携を通して、生徒 や教職員が一つになれるような取り組みをしてもらいたいと思います。</p>

(委員)

小規模校の研究を進める中で、実際に見学に行き、先生方からお話を伺うと、地域の方との結びつき、先生と生徒の結びつきも非常に良いとよく聞きます。学校統合の検討を進める中で、クラス替えが統合の目的なのか疑問が残るところではあったので、学級数だけでなく、財政面や地域まちづくり等、多角的な視点で検討していく必要があると感じました。

(委員)

第7回検討部会で紹介された「生徒児童からの意見」が夢いっぱいなので、是非その意見を大切にしてもらいたいと思います。また、学校統合について、不安を感じている子どもや保護者もいると思うので、安心していただけるように少しずつ準備を進めてもらいたいと思います。

(委員)

地域によって文化が違うので、本当に断腸の思いで学校統合を決めたのだらうと思います。統合までの2年の間に、子どものことを第一に考えた環境づくりを進めていただきたいと思います。

(委員)

横浜では、他の地域でも団地の子どもが少なくなっている現状があります。その中で、地域の方は皆さん、私たちの学校という思いをお持ちだと思います。ただ、子どもたちや保護者の多様なニーズに応えるためには、小規模の状態を解消していかなければならないと思いますし、これから新しい学校、歴史をつくっていくと考えていくと良いと思います。

(委員)

統合の際に、大規模な学校が小規模の学校を取り込む形となると、小規模校側の意見が小さくなってしまいうこともあると思いますが、統合後も地域や保護者の皆さまの協力のもと、これまでの学校の良さや特色が活かされるような取組みを期待しています。

(部会長)

今回の検討を通じて感じたこととして、国でも少人数学級が議論されているように、今後子どもたちが減っていく中で、一律に小規模になったら統合するというのではなく、小規模校を残して良さを活かしていくほうが子どもの教育にとって良いのではないかと感じました。

(委員)

自分が住んでいる地域でも学校統合によって、学校と地域の関係が希薄になったという課題が生じています。地域としては、学校、子どもたちと連携して、地域づ

くりをしたいと考えていますので、学校統合にあたっては、どのように地域を一体化していくかが課題であると感じています。

(委員長)

本検討委員会における審議の結果としては、部会でまとめた意見書をもって本検討委員会の結論とし、「『旭北中学校・上白根中学校』通学区域と学校規模適正化等に関する意見書」のとおり教育委員会へ答申する、ということによろしいですか。

(異議なし)

(委員長)

ありがとうございます。それでは、平成31年1月30日付けで諮問のありました件について、別紙の「『旭北中学校・上白根中学校』通学区域と学校規模適正化等に関する意見書」のとおり答申することを決定いたしました。

答申書及び意見書は部会長から教育長へ御提出いただきたいと思います。

いろいろな意見が出る中で、子どもたちの教育環境を良くするために部会長をはじめ部会委員の方々に熱心に御議論いただきました。ありがとうございます。

以上で、「旭北中学校・上白根中学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会に関する議事は終了とさせていただきます。

2 学校規模適正化等について

(委員)

説明会報告に記載されている小規模校の良さや課題は、実際に児童や保護者、教職員の方から出た意見でしょうか。

(事務局)

横浜市では、「横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針」を策定しております。同基本方針の策定にあたり、教職員や地域の所管の教育委員会事務局の職員等からの意見や、これまでの部会の中で出てきた御意見なども参考にしております。

(委員)

挙げられている課題の中には、運用面で解決できる部分も含まれており、「本当の課題なのかな」と思う部分もあるので、改めて現場の生の声としてどういう課題があるのかを整理しておく必要があると思います。

また、財政面の理由も学校統合の議論とは無関係ではないと思うので、今後は議論しておく必要があるのではないかと思います。

(委員)

統合の検討は、地域からの要望なのか、教育委員会からの提案なのかどちらでしょうか。

(事務局)

本検討委員会の中で、「この学校とこの学校について検討します」という御提案は、教育委員会事務局からしています。検討部会では、学区変更によって学級数を増やすことができるかという案をいくつか提示するとともに、仮に学校統合した場合の学級数もあわせて提示しています。統合を前提とした提案ではありません。

(委員)

行政区をまたいだ統合の提案が事務局からされても、地域としては簡単な話ではないのではないのでしょうか。

(事務局)

おっしゃる通り、学区を変更すること自体、子どもたちや保護者、地域の方々も抵抗があります。今回は行政区をまたいだ学校同士の検討ということで、もうひとつ難しい要素が加わりました。

参考に、行政区をまたいで学区を設定している小学校は、現在横浜市内に 62 校あり、少なくともありませんが、やはり課題であると考えています。

(委員)

横浜市は、区が分かれていった背景があることから、行政区と学校を一致させることが難しい地域もありますが、極力避けた方がいいと思います。児童相談所や警察との関係は行政区によって管轄が分かれていることもあり、行政区をまたがっていると教職員の負担も重くなります。今の働き方改革の中で、学校事務や校務分掌も含めて、教職員負担を減らしていく必要があると考えています。

(事務局)

教職員の課題として、一人一人の学校事務や公務分掌の負担が非常に重くなってしまいうことが、小規模校の課題であると思います。また、教員同士のサポートといった点についても、保護者説明会ではわかりやすく説明しているところです。

(委員)

昨今の教員不足は深刻な問題ですが、御存知ない方もたくさんいらっしゃると思います。そのような本当の課題をもっと共有しなくてはならないと思います。

(委員)

PTA に関して言いますと、上手くいくか否かは、学校の規模はあまり関係ないと思います。そのため、小規模校の課題を示す際には、もう少し本質に迫った表現をした方が大事なことが伝わると思います。

(委員長)

それでは、この件に関しては、委員会としては引き続き御検討して頂きたいということよろしいでしょうか。

	<p style="text-align: center;">(異議なし)</p> <p>(委員長) ありがとうございます。それでは次の議事に移りたいと思います。</p> <p>3 菅田の丘小学校開校に向けた準備について</p> <p>(委員) 先ほども話に挙がりました学区についてですが、区境の地域では希望すれば、隣接する区の学校に通えるのでしょうか。</p> <p>(事務局) 大部分は住所によって1校指定されていますが、2校を選べる区域に設定されている地域もごく一部ですがございます。</p> <p>(委員) 先ほど事務局から行政区をまたいだ学校が多いとのことでしたが、支援が必要なお子さんの取りこぼしがないか気になりました。そのため、行政区間での連携等が重要ではないかと思いました。</p> <p>(委員長) 子どもたちや保護者の方の混乱等が起きないように、対応してもらいたいと思います。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次第」 ・「委員名簿」 ・「座席表」 ・【資料1】部会からの報告 ・「旭北中学校・上白根中学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会ニュース第1号～第7号 ・【資料2】学校規模適正化等について ・【資料3】菅田の丘小学校開校に向けた準備について <p>【特記事項】 なし</p>